

株式会社 松屋 2016年10月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-10.2	-3.2
② 銀座店	-10.5	-5.6
③ 浅草店	-5.2	1.2

- ① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
銀座本店	5.3	5.4	9.0	6.2	-2.2	-7.0	-10.9	-10.3	-7.1	-17.5	-13.1	-10.2
松屋銀座	6.4	6.1	10.2	6.6	-2.1	-7.0	-11.1	-10.7	-7.5	-18.5	-13.5	-10.5
松屋浅草	-5.3	-2.1	-5.6	0.8	-3.0	-7.2	-8.0	-5.1	-1.6	-4.4	-7.3	-5.2

3. 店舗別商況

銀座店	銀座店では、前年の大きな免税売上高の反動により、ラグジュアリーブランド・時計の売上高前年割れの傾向が続いています。衣料部門では、前半最高気温30度を超える気候の中で、ジャケット・ニットを軸とした秋物商材の動きに鈍さが見られました。一方、化粧品においては、引き続き国内外のお客様による旺盛な購買により、売上高は前年を上回りました。催事は、「銀座の『きもの市』」を開催。メディアとのタイアップで新規顧客が増え、こだわりのきもの等の高額商品の動きが堅調でした。なお、本年は日曜日が+1日と好条件ながらも3連休における雨天の影響や月前半の高気温、また館内施設の更新により、一部面積を縮小して営業した等の要素がミックスされ、売上高は前年を下回りました。
浅草店	浅草店は、弁当・惣菜、新ブランドが入った婦人雑貨は好調も、それ以外の食品・衣料部門が苦戦。売上高は前年に届きませんでした。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-16.0	-16.0
婦人服・洋品	-9.1	-9.6
子供服・洋品	-12.0	-12.0
呉服寝具他	15.7	15.1
衣料品計	-9.7	-10.2
身廻り品	-14.7	-14.5
雑貨	-14.4	-14.1
家具	5.5	5.7
家電	-9.7	-9.7
家庭用品	-19.5	-19.5
家庭用品計	-6.0	-6.0
食料品	-1.2	0.5
食堂・喫茶	0.3	0.3
サービス、その他	-11.2	-14.0
合計	-10.2	-10.5

商品別概況(銀座店)

- *紳士服・洋品は、ジャケット・ニット等の秋物実需商材の不振により、売上高は前年を下回りました。
 *婦人服・洋品は、コートを軸とした防寒衣料の売上高が伸び悩み、売上高は前年を下回りました。
 *身廻り品は、ブーツに代表される冬商材が好調に推移するも、全体的に売上高は前年を下回りました。
 *雑貨は、時計の売上高が前年に対して大きく落ち込み全体を押し上げましたが、化粧品や宝飾の売上高は前年を上回りました。
 *食料品は、リニューアル後の和菓子売場が好調に推移し全体を牽引しましたが、売上高は前年にわずかに届きませんでした。
- (特記事項)
 *エスカレーター・壁面等、館内設備の更新があり、一部の売場は面積を縮小して営業しています。